

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	◎	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・学校の休校や外食の自粛等の影響で来客数は減少しているが、買上点数及び客単価は大幅に増加し、前年比プラスの状態が続いている。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛による巣籠り需要が依然として続いている。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言及び外出自粛の効果で家庭内食材料の販売が好調に推移している。
	○	家電量販店（店員）	来客数の動き	・他業種が臨時休業していた影響で来客数が増え、それに伴い売上も増加している。
	□	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・臨時休校やテレワークで家族の在宅時間が増加したことや、休日の外出自粛の影響で大型店舗が休業したことが、当店の来客数の増加につながり、売上が増加している。
	□	通信会社（営業部長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言解除後、少ないながらも来客数が増加しているが、以前に比べて大幅に減少していることには変わりはない。
	▲	家電量販店（副店長）	来客数の動き	・年明けから来客数は減少していたが、緊急事態宣言発令後、より一層来客数が減少している。現在は目的がある方のみ来店している状況である。
	▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・5月の受注状況は前年近くまで持ち直しているが、生産が遅れていることもあり、5月の販売台数は前年比で大幅な減少となった。
	▲	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・街の雰囲気は少し明るくなってきたものの、来客数は依然として少ない。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛等により来客数が激減している。緊急事態宣言が解除されたものの、まだまだ客動向には反映されていない。
	×	商店街（事務局長）	販売量の動き	・緊急事態宣言は解除されたものの、有効なワクチンが集団免疫が確保できない限り、全国民、企業は行動やビジネスに慎重にならざるを得ず、すぐに消費回復や業績回復にはつながらない。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響は峠を越えたかもしれないが、当面、完全に元に戻ることはない。さらに、これを境に人々の社会生活様式が大きく変化し、巣籠りが習性化しネットショッピングの利用者の増加が加速化する。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・5月のゴールデンウィークは、緊急事態宣言が発令されていたせいかもしれないが、人通りが全くない状態が続いた。3密状態になる商店街は、やむを得ないことだとは思いますが、厳しい状態が続いている。
	×	一般小売店〔生花〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響は3～4月よりも大きく、業績は悪化している。特に夜の繁華街では、開店している店も人通りも車の通りもない。5月後半から営業自粛が解除されたが、人出は戻らず、開店している店は閑散としている。
	×	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・出版社の編集部員が新型コロナウイルスに感染したり、テレワークなどで出社人数が減少するなどして、週刊誌や月刊誌の刊行数が減少している。月刊誌の場合、5～6月合併号にして5月刊行を休むと、1回分の売上がなくなる。
	×	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・営業は再開したが、来客数、売上共に、前年比40%程度で推移しており、回復の見込みがない。
	×	百貨店（営業管理担当）	それ以外	・緊急事態宣言の発令を受けて、ゴールデンウィーク前から約1か月間、全館臨時休業を実施した。その後、部分的に営業を再開させ、現在は全館営業再開しているが、続く外出自粛ムードや各催事の中止なども影響し、厳しい商況が続いている。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、ゴールデンウィークの来客数は前年比60%台まで下落した。緊急事態宣言解除後、何とか70%台まで回復したものの、依然としてかなり悪い状況が続いており、特に夜間から早朝は壊滅的な状況である。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比20～30%減少しており、時間帯によっては前年比50%減少している。
×	コンビニ（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響によるテレワークの増加や学校の臨時休校等により来客数が激減している。	

	×	コンビニ（総務）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、ここ数年で最低の来客数及び売上となっている。
	×	衣料品専門店（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、小売や飲食関係は一般的に壊滅的な状況である。全国的に緊急事態宣言が解除されたが、年内一杯は元の状態に戻る可能性は低い。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年5月はゴールデンウィークで売上増加が期待できる月であるが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛要請の影響で、非常に深刻な状況である。
	×	乗用車販売業（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが落ち着いてから新車購入や点検を検討する考えの方が多い。
	×	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・フェアを開催しても来客数は少なく、用事で来店しても店内には入りたくないという人もいる。
	×	その他小売 [ショッピングセンター]（副支配人）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言は解除されたが、依然として自粛ムードは続いており、回復する気配は感じられない。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・業績悪化は続いているが、自粛要請に従っている日本人の行動は、すばらしいと感じている。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・5月は店の休業や時短営業の影響で過去最低の売上となっている。この状況が続けば会社の継続が非常に厳しくなる。
	×	観光型旅館（経営者）	それ以外	・ワクチンや特効薬の開発による新型コロナウイルスの本質的な終息がみえない限り観光業の回復は難しい。
	×	旅行代理店（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大により、一般団体の予約取消しや修学旅行の延期、全てのイベント中止等、甚大な影響を受けている。また、個人においても越県自粛により、ビジネス出張や個人旅行等の受注が全くない状態である。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・2～3か月前と5月を比較すると、来客数は非常に少ない。売上も前年に比べ3分の1となっている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が激減している。緊急事態宣言が解除され、店も多少開いているようだが、食事や飲みに出る客は依然として少なく、現在、タクシー業界は最悪な状況である。今年の春のお遍路の予約も全てなくなり、以前に比べ売上は10分の1くらいに減少している。
	×	通信会社社員	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止のために訪問販売を中止している。
	×	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた営業自粛により来客数が減少している。
	×	競輪競馬（マネージャー）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により外出自粛ムードが浸透してきており、景気の回復には時間を要する。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて以降、学生の来客数が増加する等、少しずつ回復してきている状態である。
	×	美容室（経営者）	それ以外	・連休明けから少しずつ回復してきているが、依然として来客数は激減している。
	×	設計事務所（所長）	来客数の動き	・付き合いのある客から、特に日銭商売をされている人の景気が非常に悪く、苦しんでいるという声を聞いている。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・再生可能エネルギーに関しては、販売量に変化はない状態である。また、県外への出張準備も始まるため、いろいろな形で景気が良くなっていくことを期待する。
	○	税理士	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除されたことにより、営業自粛していた顧問先が営業再開してきている。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が思うようには伸びず、苦しい状態が続いている。
	▲	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・米中貿易摩擦による設備投資の低迷と新型コロナウイルスの影響により、受注、販売共に減少傾向である。
	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主たる事業である公共事業は予定どおり発注されているが、テレワークによる効率性の低下や現地立入りの延期などが要因で、手持ち業務の履行遅延も発生している。発注者からは、業務の工期延伸や中止命令等の措置が講じられることになっているが、このまま生産性が低下した状態が続けば売上増加は厳しい。

	▲	建設業（総務）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が今後どのように出てくるのか分からない。
	×	農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により家庭消費が増え、外食・飲食関係が落ち込んだ影響で、野菜の卸売市場価格は品目間で価格差が大きく生じている。花きについては、イベントや稽古事の中止、外出自粛等により花を買う機会が減少した影響で、品目格差はあるものの前年比50～80%の厳しい販売単価が続いている。
	×	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・5月は、地方の小売店の休業や大型イベントの中止により、売上が前年比50%減少している。取引先の中では廃業するところも出てきており、緊急事態宣言の解除後もまだまだ厳しい状況は続いている。
	×	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・今月になって受注が一段と悪化しており、この先どこまで悪くなるか不透明な状態である。
	×	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・前月までは中食需要が好調で市販用食品や衛生用品の受注が増加していたが、5月以降は各家庭のストック需要が一巡したことにより受注は減少している。業務食品、観光業、住宅、自動車関連向けの受注は低調が続いているが、飛まつ感染防止フィルムや医療用ガウンの引き合いは増加している。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、海外工場の一時閉鎖や受注・売上の一部に延期等の動きがある。
	×	電気機械器具製造業（経理）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、全世界で人々の行動が制約され、個人消費が大幅に冷え込んでいることや、企業収益の回復が見通せないことにより、投資を控える動きが起こっている。
	×	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・先が見通せず厳しい状態である。
	×	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う不要不急の外出抑制が消費の低迷に直結し、取扱物量の著しい減少となって波及している。当社でもリーマンショックを大きく上回る売上減少となっている。周囲では取引先が経営破綻する事例を聞くため、与信管理を強化しつつ、物量確保に向けた渉外活動にも慎重にならざるを得ない状態である。
	×	輸送業（経理）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による需要の激減と市場の供給縮小により、3か月前から物量が激減しており、客の動向も鈍い。
	×	通信業（企画・売上管理）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う自粛の動きで、テレビ広告市場は縮小傾向にある。
	×	通信業（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
	×	金融業（副支店長）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で飲食、宿泊業は閉店している店も多く、売上は激減している。当初は新型コロナウイルスの影響が少なかった業種にも様々な影響が表れてきている。
	×	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月頃から急激に新型コロナウイルスの影響が出ており、5月は取引先の販売促進広告、イベント等の中止が続いており、売上は前年比50%以下の見込みである。
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	—	—	—
(四国)	▲	—	—	—
	×	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で求人数が減少している。工場の生産数も落ち込んでおり求人が減少傾向にある。
	×	人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発令された後、接客等を伴う事業は休業状態にあり、閉店していく企業や店舗も増加した。特に自営の飲食業、小売業は厳しい状況である。中小企業等は雇用調整助成金を活用して経営を維持しようと努力しているが、先行きはまだまだ不透明であり、景気の回復には時間を要する。

×	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・引き続き、飲食、サービス、観光業とその関連業種の落ち込みは激しく、事業を存続できるかどうかの瀬戸際の事業者が多くなっている。また、融資が受けられない事業者や、助成金と補助金等ではやり繰りできない事業者もあるため、景気はかなり悪くなっている。
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・観光業や飲食業などは全国と同様に厳しい傾向にある。それ以外の現時点では直接被害のない業種でも今後に備えて支出を控える傾向にある。
×	職業安定所（求人開発）	周辺企業の様子	・4月の有効求人倍率は1.23倍で3か月前と比較して大幅に減少しており、前年同月と比較しても減少となっている。新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、事業所閉鎖、事業縮小等による人員整理を実施する事業所が増加している。
×	民間職業紹介機関（所長）	それ以外	・地方都市においても、新型コロナウイルスの影響がかなり出始めている。都市圏との往来規制、夏祭りの中止、お遍路さんの激減等で、あらゆる業種、職種が影響を受けている。
×	学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策により、閉店や経営ひっ迫が生じている。